

中学軟式野球部 活動報告

中学野球部顧問 吉岡 一耀

追手門学院中学校野球部は今年度3年生5名、2年生6名、1年生5名の計16名で活動しております。少人数での活動ではありますが、夏の『大阪中学校軟式野球優勝大会』では2年連続でベスト64まで勝ち進みました。そして3年生が引退し、新チームで挑んだ茨木・三島地区中体連軟式野球大会では、見事に3位入賞を果たすことができました。皆様の日々のご支援の賜物と存じます。また、選手たちも日々の練習に懸命に取り組んでいました。そうしたことが結びついて、このよい結果が得られたのだと考えております。

今後も選手および指導者が一丸となって活動してまいります。引き続きご支援、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



生徒の世界を大切に作る創造コース

創造コース教育推進部長 牛込 紘太

創造コースでは、生徒たちの中に湧き上がる感性や情熱を大切に、唯一無二な価値観や個性、感性を持ち寄ることで、他者や社会と繋がり、多様な価値観に触れ、自他の違いを知り、その違いを認め合い活かし合うことで、自分自身を成長させることができると考えています。

現在1期生である1年生においては、「自分軸を見つける」ことを目標に、自分の中の当たり前を疑うことから始め、「何をもって正しいとする?」「何をもって知っているとする?」を共通のテーマに設定をし授業やLHR、行事が行われています。それら様々な経験を通して自信をつけ、自分にとっての幸せを追求し、自分にとってのよりよい進路をめざしてくれることを願っています。



茨木中高 & 大手前中高

カケハシ・プロジェクト 活動報告

大手前中・高等学校 主幹教諭 福島 哲也



日本政府が推進する国際交流事業で一般社団法人日本国際協力センターが企画・運営する「カケハシプロジェクト」に、8月25日から8日間、大手前中高から3名、茨木中高から5名の生徒が参加しました。ヒューストンに到着後、ライス大学やSpace Center Houstonを訪ねました。フレデリックバーグへ移動後、国立太平洋戦争博物館を訪れ太平洋戦争をアメリカの視点から学びました。小学生の頃から歴史を学び、太平洋戦争についてはある程度の知識がありましたが、同じ歴史をアメリカから見ると日本では学ばないことがたくさんあると気づくことができました。戦争の悲惨さ、平和の大切さを改めて知ることができ、歴史は多角的に知ることが必要であると実感しました。帰国した今、